

春が来た さくら咲

元気いっぱいのもちっこ



お花のプレゼント



さくらまつり

4月4日(土)、持留地区農業構造改善センターにおいて、第1回目となる『持留さくらまつり』が開催されました。本事業は、持留公民分館と持留地域づくり協議会が主催となり3年の月日を経て実現したものです。

町青年団と大崎中学校ボランティア部による和太鼓演奏がオープニングを飾りスタートしたさくらまつり。持留公民分館の岡元修一分館長は「少子高齢化の波が押し寄せる中、持留分館では3年前に地域づくり協議会を設立しました。これは、地域の人間が集える場をつくろうという思いからであり、長年の念願であった『まつり』を開催できて本当に嬉しい。手作り感満載の『まつり』で持留を感じてほしい。これを機に持留がこれまで以上に盛り上がることを期待したい。」とあいさつされました。

特設ステージでは、持留小学校の全児童による合唱や志布志高等学校吹奏楽部の演奏がありました。

地域住民がメインとなった演芸大会は、地元おどりの会の舞踊やフラダンス、カラオケなどの披露があり、

和太鼓演奏 (大崎中ボランティア部)



和太鼓演奏 (青年団)

